

風水害編



浸水に弱い
北区の地形
早めの行動で
自らを守れ!

風水害編 第1章 【災害想定】

北区で起こりうる、
4つの風水害



- ① 北区を襲う大規模な風水害 p.105
- ② 北区の風水害の特性 p.109

① 北区を襲う大規模な風水害

北区は浸水に弱い

毎年のように襲来する台風や豪雨による被害が、地球温暖化によりさらに甚大になっていくといわれています。

水に浸かりやすく、水がなかなか引かない



北区では海拔0m地帯やそれに近い低地が広範囲に広がっています。ポンプを使わないと川や海に排水できないので水がなかなか引きません。

停電が続く可能性も

暴風で電柱が倒れたり電気設備が浸水で使えなくなるなど、停電が続く可能性があります。



事前の備えと早めの対策

事前の備えは地震対策と同じ

備蓄物資や持ち出し品の内容などは、基本的には地震の場合と同じです。ただし、長期間水に浸かる可能性のある地域では、物資などを地震の場合よりも余裕をもって蓄えておくとより安心です。



早め早めの対策を

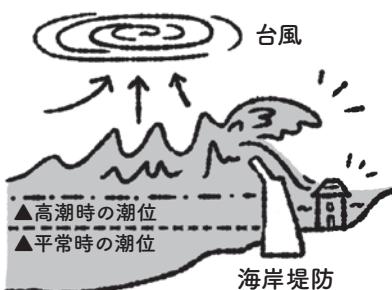
風水害は事前に予測ができます。風水害の特徴を知って、時期に応じた準備をしましょう。高齢者や障がい者などは早く対策するほど安心です。

① 北区を襲う大規模な風水害

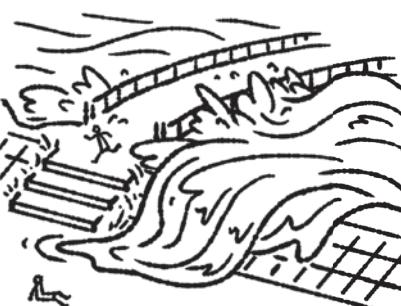
コラム^⑯
column

===== 大規模な風水害のパターン =====

北区を襲う大規模な風水害は、スーパー台風による高潮と暴風雨、豪雨・長雨による淀川氾濫、局地的大雨による内水氾濫、南海トラフ巨大地震による津波の4つです。



Ⓐ スーパー台風による高潮と暴風雨



Ⓑ 豪雨・長雨による淀川氾濫



Ⓒ 局地的大雨による内水氾濫



Ⓓ 南海トラフ巨大地震による津波

津波を実感し、高潮を知る

津波・高潮ステーションで学ぶ

近い将来必ず大阪を襲うといわれる南海トラフ巨大地震による津波や、かつて大阪を襲った高潮への対応などを学べる、広く開かれた施設です。

ダイナキューブ

前面・左右侧面・底面の4面に投影される映像の中に身を置くことで、より体感的に津波の脅威を感じることができます。



高潮被害トンネル

過去、大阪を襲った室戸台風、ジェーン台風、第二室戸台風による高潮被害の様子を展示しています。現在は防潮堤のかさ上げなどで安全性が向上していますが、これを越える高潮が起きたときのことを、展示から学び取ることができます。



施設案内 津波・高潮ステーション

開館時間：午前10時～午後4時

休館日：火曜日、土曜日、年末年始

入館料：無料

所在地：西区江之子島2-1-64

電話：06-6541-7799

最寄駅：Osaka Metro 中央線・千日前線 阿波座駅

8・10番出口より徒歩約2分

② 北区の風水害の特性

===== ①スーパー台風による高潮と暴風雨 =====

猛烈な風雨と高潮



大型で強い台風が大阪湾を通過して上陸すると、猛烈な風雨による被害だけでなく高潮氾濫が起り、北区のほぼ全域が浸水する可能性があります。

暴風雨により屋根や壁、バルコニーに置いたものなどが飛ばされたり、飛んできたものでガラスが割れるなど様々な被害が発生するおそれがあります。また、高潮で浸水しなくとも内水氾濫の発生に警戒することや、倒木などで電線が寸断され停電が長期化することも想定しておきましょう。

===== ②豪雨・長雨による淀川氾濫 =====



淀川沿岸に整備された堤防の高さと市街地との間に大きな高低差ができたため、ひとたび堤防が壊れると、氾濫した水が一瞬にしてまちを襲い、人命や住宅、ライフラインが途絶えるなど壊滅的な被害になります。

淀川氾濫は北区全体に広がる

決壊した堤防の近くは流速が早く、「家屋倒壊等氾濫想定区域」内の木造建物などが流出する可能性があります。

地下街などの入口にある浸水防止パネルを越えて、地下空間に大量の水が一気に流れ込むおそれもあります。



淀川氾濫による浸水想定区域と浸水継続時間を確認する pp.179-180

.....【平成30年台風21号】.....

関西国際空港連絡橋の寸断、広域・長期の停電など猛威を振るった台風21号は、湾岸に高潮浸水被害を引き起しました。

安治川水門に押し寄せる高潮

写真提供：国土交通省近畿地方整備局



.....【平成25年9月16日 台風18号豪雨】.....

淀川本川では、昭和57年以来約30年ぶりに河川敷まで冠水する洪水となりました。

枚方市周辺の状況

写真提供：国土交通省淀川河川事務所



② 北区の風水害の特性

===== ④局地的大雨による内水氾濫 =====

突然地下に水が流れ込んでくる



地下街などでは、局所的な大雨の降り始めがわかりにくく、また急に水位が増すため、逃げ遅れる危険性が高い災害です。

地上の水位が浅くとも、突然地下空間に水が流れ込むこともあります。

令和元年台風19号では、川崎市の超高層マンションの地下の電気室が浸水して停電し、1週間以上トイレやエレベーターが使えませんでした。



内水氾濫による浸水想定区域を確認する p.181

.....【平成25年8月25日 大阪市北部の局地的大雨】.....

1時間雨量:67.5mm

浸水戸数:1,320戸 うち床上41戸

梅田周辺の状況

出典:「集中豪雨被害軽減対策について」
(大阪市)



===== ④南海トラフ巨大地震による津波 =====

津波はスピードと破壊力を
持つて迫ってくる

北区では最大1.7万人弱の死者が予想されています。事前の避難によって、ゼロにすることができます。



後片付けより
命を守るため避難第一

大きく長い横ゆれの地震が発生したあとは、津波が発生する可能性があります。家具などが散乱する室内を片付けるより、災害情報に耳を傾けて、次の行動を決めることが大切です。大阪駅周辺では地下空間が浸水する可能性があります。



津波による浸水想定区域を確認する p.182

.....【平成23年3月11日 東日本大震災】.....



石巻市役所周辺の浸水状況

出典:東日本大震災アーカイブ宮城(石巻市) 石巻市役所提供



石巻市中央2丁目付近の被害状況

コラム⑯
column

地下空間での注意事項

地下空間では外の様子に注意

雨の季節、自宅や管理人のいないビルなど外部からの声かけが期待できない地下にいる場合、常に情報が入るようテレビ、ラジオなどに注意を傾けておきましょう。

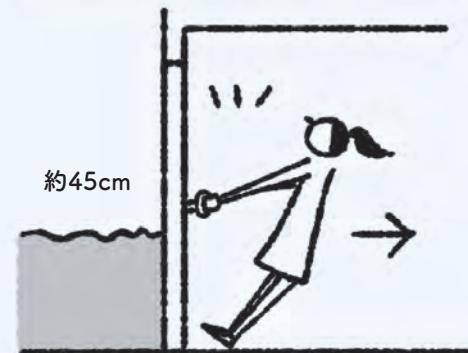
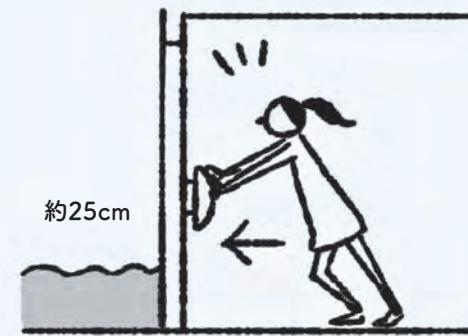
地下は密室になりやすく避難が困難になる

地下はもともと閉鎖性の高い空間で、浸水が発生すると逃げ道が少なく避難がとても難しくなります。また、停電に加えて非常灯・誘導灯までショートしてしまうと、避難はさらに難しくなります。早めの避難が大切です。



足元に水が見えたらすぐに避難

外開き、内開きにかかわらず、浸水すると水圧で扉が開かなくなります。外開き扉が開かなくなる浸水の深さは約25cm、内開き扉でも約45cmの浸水で扉が開かなくなります。内開き扉が開かなくなるのは、ドアノブと連動するツメに大きな圧力がかかってドアノブが回らなくなるためです。



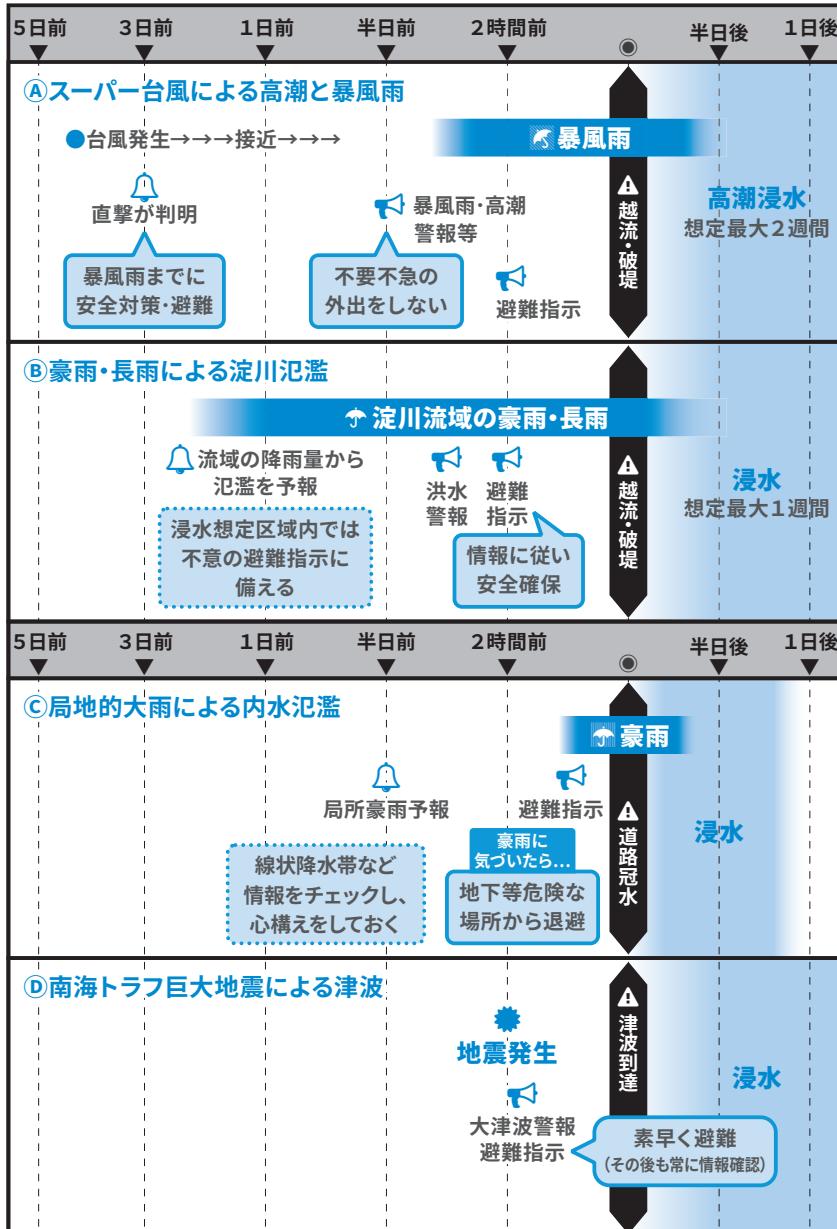
風水害編 第2章 【災害対策】

予報にあわせて、
遅れず対策する



- 1 風水害のタイムライン p.117
- 2 事前の対策 p.119
- 3 発災時の対応 p.121
- 4 自宅以外に避難する場合 p.123

① 風水害のタイムライン



※このタイムラインは大阪市北区を対象としたものです。

台風は接近に伴い情報が詳しくなる

大阪湾を通って上陸する強い台風は、暴風雨だけでなく高潮被害をもたらすことがあります。



淀川氾濫は上流部での雨が原因

上流部での降雨が淀川の流量に大きく影響するので、住んでいる地域に雨が降っていなくても、気象情報に注意を払い、避難情報に従って行動しましょう。

内水氾濫では避難情報が発信されないことも

猛烈な雨が降りだしてから早ければほんの30分程度で道路側溝やマンホールから水があふれだします。空が真っ黒な雲に覆われ冷たい風が吹き始めたら要注意です。

津波避難は地震発生後すみやかに

南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合には、地震発生後すぐに大津波警報が発表されます。

大きなゆれを感じたら、情報に注意して、避難指示(緊急)の発令を待たずに素早い避難を心がけましょう。



② 事前の対策

===== 日ごろのチェックと対策 =====

ハザードマップのチェック

風水害の種類ごとに自宅の浸水深さなどをチェックしましょう。



水害時の浸水想定を確認する
pp.179-182



マイタイムラインをつくるう



気象予報や避難情報に合わせて、自分や家族がどう行動をするか、計画しておきましょう。日常生活に支援が必要な人や避難に時間を要する人は早めの安全確保が重要です。在宅避難を基本に計画しましょう。



備蓄の確認

ライフラインが長期間途絶えることがあります。台風時期にあわせて定期的に水や食料、簡易トイレなどの備蓄を確認しましょう。



在宅避難に必要な備蓄を確認する pp.224-225

===== 風水害のおそれが生じたとき =====

台風や大雨など気象情報をこまめに確認しながら、マイタイムラインに沿って行動しましょう。

建物まわりの安全対策

風水害で壊れるおそれのある屋根や外壁、窓などを修理しておきましょう。

台風の場合は、排水溝の清掃など家周りの点検、窓ガラスの飛散防止・屋外にある物品の固定も。



備蓄の確認と準備

水・食料などが浸水しない場所にあるか確認するとともに、土のう・吸水土のうや防水シート、ロープなど必要な資機材をチェックしましょう。



自宅以外への避難の備え

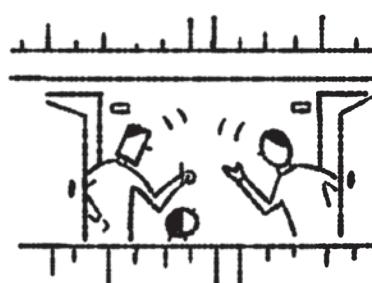
どうしても避難せざるを得ない場合のために、避難先の確認、持ち出し品や避難時の服装の準備を行いましょう。



③ 発災時の対応

===== 水害避難の基本 =====

水平避難と垂直避難 水平避難は浸水想定区域の外側への避難。
垂直避難は丈夫な建物の浸水しない階への避難。



在宅避難を基本に

自宅で生活を継続する方が心身への負担を軽減することができます。
自宅が浸水しない場合は自宅に留まりましょう。



大津波警報の場合

津波避難ビルなどの3階以上の高い場所か、区の東側部分の浸水想定区域外に避難してください。



最寄りの津波避難ビルを確認する pp.159-176
水害時に避難できる避難場所を確認する pp.183-186

===== 自宅や避難先での対応 =====

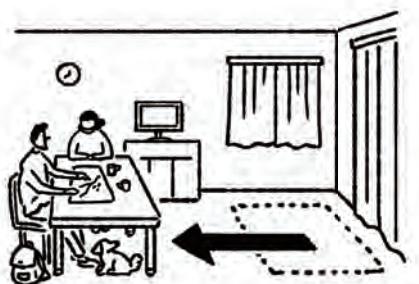
風水害が収まるまで屋外に出ない

暴風雨の間や地域一帯が浸水してしまったら、屋外は大変危険なため自宅や避難先の建物から外に出ないのが鉄則です。



窓のそばに近づかない

窓のそばは飛んできたものなどでガラスが割れ、けがをするおそれがあります。



避難情報の解除を待つ

とくに津波は一度引いても何度も押し寄せことがあります。
避難情報が解除されるまでは浸水想定区域に入らないでください。
津波避難ビルなどでは管理者の指示に従ってください。

風水害からの安全が確認できたら

自宅にいる場合はそのまま避難生活が可能かを確認します。
離れた場所にいる場合は、自宅や周辺の被害状況を調べ、帰宅するか自宅以外で避難生活をするかを判断しましょう。



④ 自宅以外に避難する場合

===== 水害からの避難は浸水するまで =====

自宅が避難情報の対象エリアや浸水想定区域で、在宅避難が困難と思われる場合は、持ち出し品を持って安全な場所に避難しましょう。浸水が発生する前に避難行動をとることが大切です。

市からの避難情報は3段階

警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
高齢者など避難に時間を見る人は安全な場所へ避難	速やかに安全な場所へ避難	命の危険。直ちに安全確保！

早めの水平避難

治療や介護などのサービスが日常的に必要な人は、早めに浸水想定区域外へ避難しましょう。浸水した地域はサービスが大きく低下します。



避難先を調べる

避難所に避難する場合は防災アプリなどで開設情報を確認してください。



最寄りの津波避難ビルを確認する pp.159-176
水害時に避難できる避難場所を確認する pp.183-186



水害時の避難先を決めておく pp.227-228

===== 浸水後やむなく避難するとき =====

動きやすく安全な格好で避難

レインコートなどを着て両手が使えるようにしましょう。長靴は水が入ったら動きにくく脱げやすいため危険です。



足元に注意

濁水の下の凹凸につまずいて転倒したり、側溝やふたのずれたマンホールに落ちないよう、傘、ウォーキングポールなど長い棒で足先を探りながら進みます。



1人で行動しない

流水の中で転ぶと立ち上がれなくなる可能性があります。助け合いができるように1人で行動することは避けましょう。子どもやお年寄りなどへの気配りも忘れないようにしましょう。



避難に自動車は使わない

多くの人が同時に避難するため、交通渋滞が発生します。

風水害編 第3章 【住宅復旧】

助けを借りて、
早めの復旧作業を



1 早めの住宅復旧

① 早めの住宅復旧

住宅の復旧は自力だけでは困難

水害にあうと、衛生上建物や家財道具の水洗いが必要で、水に泥が混じっている場合の泥出しや建物の洗浄、家財の運び出しなどの作業は重労働です。泥が固まると作業がさらに難しくなります。

自力だけでは難しいため、知人や近所の人々と助け合うほか、北区災害ボランティアセンターにボランティアの派遣をお願いするという方法もあります。



マンションの復旧は全戸で力を合わせて

マンションの場合、共用部分の復旧も急がなければなりません。時間はかけられないため、業者任せではなくマンション住民同士の助け合いで作業を進めましょう。

先を見えた対応を

水害による建物被害は、壁の内部でカビが繁殖するなど水が引いたあとも進行することがあります。災害直後にできる対策はできるだけ取り組んでおきましょう。

【参照】地震編第6章コラム⑫ 北区災害ボランティアセンター p.090

コラム[®]
column

水災保険

水害が発生すると、浸水した区域にある低層の建物あるいは低層階の住戸とそこにある家財道具全てが何かしらの被害を受けます。マンションでは、直接被害を受けた1・2階部分の住戸だけではなく、共用部分にも被害が発生します。

「水災(水害)」からの復旧には、多額の費用が必要になりますが、これを補うものとして、火災保険の特約として加入できる水災保険があります。賃貸住宅の場合、入居の条件として火災保険の加入が義務付けられている場合が多いですが、その保険に水災が含まれているか確認してみましょう。

また、分譲マンションの場合、マンション共用部分にかかる保険では、各住戸の内装や家財道具などは補償されません。保険会社によって保険の内容が異なるため、自分が加入している内容を確認してみましょう。

